

10年1月13日市警ニュース

JSS 和訳

本年2件目の死亡交通事故

1月12日火曜日午後12時40分、警察はエグリントン西通り・マーチングローブ通りで起きた人身事故のために出動した。

報告によると;

- 28才の女性がエグリントン西通りの南側で、マーチングローブ通りを西から東へ横断していた。
- この女性は生後12週間の男児を乗せた乳母車を押して、横断歩道を青信号で渡っていた。
- 83才の女性がToyota Camryを運転してマーチングローブ通りの中央車線を北進しており、赤信号の交差点にさしかかった。
- 女性はそのまま交差点を進行し、母親と幼児を撥ねた。
- 母親は約30ft(約9m)交差点内へ引きずられ、車の下敷きになった。
- 車の下から引き出された母親はその場で死亡が確認された。

幼児には明らかな外傷は見られなかったが検査のため病院に搬送された。

事故に関する情報を持っている人は警察(電話 416-808-1900)、または匿名でクライムストッパーズ(電話416-222-TIPS (8477)、オンライン www.222tips.com、またはテキスト TOR 出メッセージを CRIMES (274637))に連絡されたい。

市警交通部はトロント市内の交通安全と交通秩序維持確立に専念している。交通部に関する情報は Twitter (trafficService)、または Facebook (Toronto Police - Traffic Service)を

参照のこと。

JSS 説明

発表記事からは詳細な状況は正確には分らないが、交差点の横断歩道内を青信号で、乳母車を押していた母親を車が撥ね、引きずった上で下敷きにし、死亡させたという、なんともショッキングな事故である。運転していた83才の女性が、なぜ赤信号の交差点に突っ込んだのか説明はない。

同じ12日に、この事故とは別の場所で、80才の女性と42才の息子が、横断歩道ではないところを横断している際に車に撥ねられ女性が死亡している。

別の新聞報道によると、歩行者が巻き込まれる事故総数は減少傾向にあり、重軽傷を含めた数は昨年2,025件(07年2,295件、08年2,059件)、うち死亡事故が31件という。そして警察は事故の多くが避け得たものだという認識を持っていると言う。

新聞報道のポイントは、死亡事故の多く(19件)は、交通の比較的激しくないGTA周辺地区で起きているという点にある。交通量、歩行者の数が共に比較にならないほど多いダウンタウンの中心地区よりも、数が少ない周辺地区の方が歩行者死亡事故が多いというのだ。

事故の多くは、急いで右または左折した車が横断歩道を渡っていた歩行者を撥ねる、または歩行者が信号無視などで、不正に車道に出たときに起きている。そして、周辺地区の道路はダウンタウン中心地区と較べると道幅が広く、横断は容易ではなく、その上車の走行速度が(制限速度を超えて)速いことが、事故につながっていると言う。

関係者の中には、ベビーブーマーが高齢化し

車の運転をしなくなる時期であることから、歩行者数が大幅に増加することが見込まれ、したがってさらに状況が悪化するのでは・・・という懸念があるようだ。

運転する立場の者は当然のこと、歩行者も、こういった状況を十分認識して、危険を避ける心がけはもとより、交通法規を遵守して、事故の原因になりかねない行動を避けるように心がけることが、自身はもとより他の道路利用者にとっても極めて重要だ。

前回の情報で述べたが年初から、ドライバーの信号無視に対する罰金は高額になっている。